

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 【新】岐阜関ヶ原古戦場記念館インバウンド推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 岐阜関ヶ原古戦場記念館 企画連携係

電話番号：0584-47-6070

E-mail：c23116@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和4年10月にコロナ水際対策が大幅に緩和され、インバウンド需要の回復が見込まれるなか、外国人観光客に人気の高い「戦国・武将観光」を推進する岐阜関ヶ原古戦場記念館としても、外国人観光客がストレスなく快適に観光を楽しめるよう受入環境の整備が必要である。

(2) 事業内容

○外国人目線での分かりやすい多言語パンフレットの作成

日本の歴史に対する知識が少ない海外のお客様向けに、記念館のコンセプトや楽しみ方を、日本語原稿を単純に翻訳するのではなく、外国人目線で分かりやすく解説したパンフレットを、多言語で作成する。

○自律走行型案内ロボットの多言語化

自律走行型案内ロボットを活用して、海外のお客様が楽しめるよう、多言語で史跡紹介や観光案内を行うプログラムを作成し、運用を行う。

○web予約システムを多言語対応に改修

現状のweb上の予約システムを、外国人利用者の利便性に考慮して、問い合わせから予約まで一元的に管理できる多言語対応システムに改修を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設での外国人受入環境の整備であるため県の経費負担は妥当

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,000	岐阜関ヶ原古戦場記念館での外国人観光客の受入環境整備
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - Ⅱの3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ④観光産業の基幹産業化
- 岐阜県成長・雇用戦略2017
 - 2 各重要プロジェクト
 - [6] 観光産業の基幹産業化プロジェクト
 - (5) ユニバーサルツーリズムの普及

(2) 国・他県の状況

岐阜県独自事業

(3) 後年度の財政負担

ロボットやシステムの維持管理が必要であることに加え、必要に応じてコンテンツの更新が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設での外国人受入環境の整備であるため県執行が妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

日本語原稿を単純に翻訳した解説文の場合、それを読んだ外国人観光客が、「必要とする情報が載っていない」、「内容が難しすぎる」、「英語表現が不自然」と感じる事が想定される。そのため、単純に翻訳するのではなく、外国人目線での解説文とする必要がある。

そういった観点で外国人目線に立った、パンフレット、自律走行型案内ロボット、web予約システムの多言語化を進め、外国人観光客の受入環境を整えることで、インバウンド誘客の推進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①観光消費額		1,721億円	2,400億円	2,900億円	3,300億円	52.2%
②観光入込客数 (実数)		3,842万人	4,000万人	4,800万人	4,900万人	78.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：1,900億円 実績：1,721億円 達成率：90.6 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

インバウンド需要の回復を見据え、的確かつ円滑な受入環境を早急に整備する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

外国人来館者のニーズを踏まえながら、記念館の魅力を一層PRするとともに、更なる魅力向上に向けて、コンテンツの更新や広報が必要。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせる理由や期待する効果 など